

こころネットワーク

だより

89号

2026年

春号

議会を身近に わかりやすく

住み良いまちは みんなで作る

初夏を思わせる暑い日など季節はあっという間に夏へ。次の議会が近づきました。今年も猛暑が予想され、岩国市省エネ家電買換え促進補助金もほぼ満額に。日々大変な事件や社会問題が次々と起こり、国際情勢も大変厳しい昨今です。任期も残り少なくなりましたが、自分なりに頑張っています。



3月定例会を終えて

新年度の予算や議員定数について



3月定例会は、2月24日から3月23日までの28日間開催され、4月からの新年度予算などを審議しました。

令和8年度一般会計予算など63件を審議し、一般会計当初予算は791億5千万円。主な事業として、岩国市出身の作家・宇野千代さんをモデルにした朝ドラ放送に合わせた観光PR・周遊促進事業や、岩国学校教育資料館での企画展開催予算が計上されました。また黒磯に整備された「いこいと学びの交流テラス」の管理運営費として約2億2,976万円、新博物館整備と徴古館改修を進める博物館整備事業として約13億3,326万円が盛り込まれています。補聴器購入費助成事業は、利用対象を18歳以上64歳以下の軽度・中等度難聴者までに拡大（上限3万円の助成）。指定管理10件の議案などが各委員会へ付託されました。

一般質問は18人の議員が三日間登壇。

その後、付託された各常任委員会審査を経て最終日には初日即決議案を除く59件を採決。58件を可決。**議員定数削減議案**については賛否が分かれ採決の結果、否決となり閉会しました。

☆最終日、議員提出議案の議員定数削減の採決時には反対討論を行いました。

選挙前に定数削減すると、現職は知名度があっても新人には「狭き門」に感じて、女性や組織的支援のない方々が立候補をためらって諦めてしまうことにもつながりかねません。

「定数を減らすことは正しく、反対は悪いことだ」ではなく、改選一年前までに広くご意見を伺い「**誰がなくても同じ、議会などいない**」と感じている方にこそ、ぜひ議員に立候補して自らの言葉で声を届けていただきたいと願っています。

3月定例会の質問より

通院への配慮やDXの活用など



市立美和病院は錦町からの通院に不便で地域医療の充実、介護人材確保や潜在ケアマネの活用、補聴器購入助成の評価、公共施設トイレ整備、宇野千代を生かした観光振興、錦帯橋料金等の改定の課題、DXを活用した保育に関わる安心安全対策、認知症徘徊者発見へのQRコードの活用などを取り上げました。

議会ホームページの下方、情報公開にあるユーチューブ（YouTube）にてご覧ください。議会だよりSee議会のQRコードからもご覧いただけますが、できれば4年に一度は議会傍聴もいかがでしょうか？

姫野の3月定例会の質問は

左のQRコードをスマホのカメラでかざして読み取ったリンクから視聴できます。議会を身近に感じていただけますと幸いです。

3月定例会
Youtube動画



6月定例会のご案内

6月5日（金）から開催されます。

一般質問は16、17、18日

常任委員会は22、23日

6月26日に閉会の予定です。

ぜひ傍聴にお越しください。

ご意見もお願いいたします。



最近気になった本

このままの刑事司法制度でよいのか？

元 厚生労働事務次官 村木厚子さん 著書「おどろきの刑事司法 “犯罪者” の作り方」を読んで

とても考えさせられた一冊なのでご紹介します。

「有罪率99.9%」というたいへんな日本。自白偏重「やったと言えば早く家に帰してやる」と言われ認めてしまう等、“無実でも追い込まれてしまう構造”があることを 著者自身の冤罪体験を通して描かれています。

特に印象的だったのは、

「誰か特別な人の問題ではなく
普通に暮らしている私たちにも
起こり得る」現実。



特に「人質司法」と呼ばれる長期勾留や繰り返し自白を強要され一度“容疑者”となると自分で無実を証明することの難しさ、さらに再審のハードルの高さなどに触れておられ、刑事司法における透明性や公平性の大切さを改めて強く感じました。

無実を証明するのに58年もかかった袴田事件などに見るにつけ「社会の仕組みを自分事として考えるきっかけになる本」として、ぜひ多くの方にも読んでいただきたいと感じました☆



議会報告 いってみんな会

次回は

姫野事務所にて
5/30、6/27(土)

14時からです。

お気軽にお越しください



姫野敦子と ころろネットワーク事務所

〒741-0082 岩国市川西3丁目3-54



✉ nishikigawa@gmail.com 🌐 <https://himenoatsuko.com/>

☎ 0827-41-1320 (FAX兼)

女性がキーポイント！



女性が立ち上がることで変わる政治

岩国市選挙管理委員会は任期満了に伴う市議会議員選挙を10月18日告示、25日投開票の日程で行う予定です。これに先立ち立候補予定者説明会を8月6日午後1時30分から

「いわくに消防防災センター」で開催します。

現在の議員定数は28人、任期中お二人が逝去され現在は26人。女性議員はわずか2名です。もし5人10人となれば議会が変わります。

されど女性が立候補しなければ、当然、女性議員も増えてはいきません。

私は1999年4月の市議選の2か月前に「男性だらけの議会、議会を変えたい」との思いから、教育事務所のコーディネーターを辞して仲間数人とチャレンジしました。紆余曲折を経て今があります。

「自分の地域をもっと良くしたい」「くらしを変えたい」「まちづくりに関わりたい」と思っておられる方は、きっとおられると思います。

「黙っていては変わらない」「自分の言葉で議会で訴えたい」、市民生活に寄り添って市政を変えていきたいと立ち上がる仲間が、もっと増えていくことを願っています。

あとがき

今年も半年近くが過ぎていきます。

人命に関わる重大な事件や事故、国際問題も多く、中東情勢の緊迫化による燃料価格の問題やナフサなど原料不足や資材不足、医療や産業への影響も猛暑対策も切実です。

いとも簡単に戦争が起これても、終わりは見えないし物価高や暮らしの課題も山積み。各法律も数の力で変えていく今日です。

日々の暮らしを支える視点を大切に
残任期間もしっかりと
取り組んでまいります。

ご自愛ください 🙏

